

とち介ランチ提供目

「と」栃木市の
「ち」地域の宝
「す」すばらしい
食材で
「け」健康に
なろう！

ちよこつと食通信

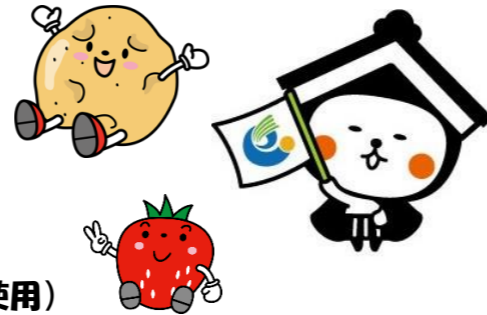
とくべつばん 特別版

栃木市のホームページにちよこつと食通信を載せています。チェックしてみてください。
<http://www.city.tochigi.lg.jp/>

とち介ランチには、栃木市で作られた農畜産物が使われています。今回のちよこつと食通信[特別版]では、その中のトマトについてお伝えします。

今回の「とち介ランチ」は・・・

- コッペパン（栃木県産の小麦粉「ゆめかおり」使用）
- ぶどうジャム（栃木市産の巨峰）
- ヤシオマスのマヨネーズ焼き（栃木県産のヤシオマス使用）
- こぶきいも（栃木市産のじゃがいも使用）
- トマトスープ（栃木市産のトマト使用）
- 牛乳（栃木県産） ○とち介いちごゼリー（栃木市産いちご使用）



国府南小学校の近くで、トマトを栽培している早乙女修一さんを訪ねました。



早乙女修一さん

早乙女さんのトマトハウスは、広がる田んぼの中に浮かぶように立っています。とても大きなビニールハウスで、たくさんのトマトを栽培していることが伺えます。

ハウスに入ると太いひもにつりさげられたトマトの弦が、林のように奥まで広がっていました。収穫間近の大きなトマトが鈴なりになっていて、早乙女さんは忙しそうに弦の手入れをしていました。

早乙女さんはJALもつけどマト部会の部会長をしています。トマト部会は現在29名。栃木市の学校給食に納品していただいているほか、日本各地の大きな青果市場に出荷しています。

トマトにつく害虫を防ぐ工夫

安心安全なトマトを栽培するため、農薬はできるだけ使わないという早乙女さん。そのためトマトを病気や害虫から守ることが一番苦労する点だそうです。そこで、害虫からトマトを守る工夫について伺いました。

その①



防虫ネット

ビニールハウスにネットを張り、虫が入るのを防いでいます。

その②



黄色粘着板

トマトにつく害虫の中には、黄色が大好きで黄色のものによってくる虫がいるそうです。その習性を利用した黄色粘着板は、よってきた虫をくっつけて離さない優れたものです。トマトの弦のあいだに何枚もぶら下げてありました。

早乙女さんに聞きました。



Q トマトの出荷時期はいつですか？

A 夏の終わりごろトマトの苗を植え、10月ごろから翌年の7月までトマトが収穫できるそうです。植えた苗は長くて30メートルにもなるそうで、1本の弦からたくさんのトマトが収穫できます。トマトの収穫が終わると弦をすべて抜いて、土を消毒し、新しい苗を植えます。



長くのびて収穫が終わったトマトの弦が地面にまいておかれていました。



早乙女さんはおいしくて栄養たっぷりのトマトをもっとたくさんの人に食べてほしいとおっしゃっていました。

収穫でお忙しい中、お話を聞かせてくださりありがとうございました！

